

長崎大学戦後・被爆80周年企画

講演 長崎、長崎の 曼荼羅よ

80年間、閉ざし続けた記憶の扉を開く―

詩集『長崎、長崎の曼荼羅よ』（長崎文献社、7月公刊）は

原爆被爆犠牲者への慰霊曲であり、

詩人金光子が2歳の時に長崎で被爆し

父母から引き継いだ

「残酷な懐かしさ」の記憶の叫びである。

2025年
7/25 金 16時30分～18時10分

会 場 長崎大学文教キャンパス・
グローバル教育棟スカイホール(地図・裏面)

司会・朗読	橋場紀子	長崎大学多文化社会学研究科
講 演	金 光子	在韓被ばく詩人(釜山在住)
解 説	文 善英	韓国東亜大学校教授
通 訳	鄭 美香	長崎大学多文化社会学研究科

事前登録不要

主催：長崎大学多文化社会学研究科・多文化社会学部

共催：核兵器廃絶研究センター、グローバルリスク研究センター

問合せ：長崎大学多文化社会学部

TEL 095(819)2934